



校長室より



ありがとう 早川 隆久 さん

コロナウイルス感染症の拡大防止対策による新しい生活様式を取り入れながら、毎日張り詰めた気持ちで学校運営をする中、嬉しいニュースが飛び込んできました。上堺小学校に、そして地域の方々の心に希望の光が射しこみ、元気をくれたプロ野球ドラフト会議。

卒業アルバムをすぐに開いてみました。なんと文集にはソフトボールを始めたきっかけや挫折しかけたこと、奮起したことがしっかりとした文字や文章で表現されていました。二十歳になったときの自分の姿には、今この時をまるで予言したような記述がありました。

彼を知る皆様からは、真面目で誠実な人柄であるとお聞ききしています。小学生の時は、優しくてリーダーシップに優れていたと。また、同級生からの情報では、ちょっとやんちゃな所もあったとのこと。ドラフトの生放送中にテレビ出演しなかったのはなぜだろうかと思っていたら、大学の授業とほぼ時間がかぶっていたことが理由であったことを聞いて、なるほどと思いました。この上堺小学校の6年間で、どう過ごしていたのだろうか、ますますイメージが膨らみます。

一つ一つ努力を重ね、ご家族や周囲の方々のバックアップを受けながら成長し、自らの夢の実現に至ったのではないのでしょうか。本校の教育目標は、「一人一人がめあてをもって取り組み、生き生きと輝く児童を育成する」です。その中には、「将来を見据えた夢をもち、明るく積極的に生活する」というねらいを含んでいます。まさにそれを実践して見せてくれたのではないのでしょうか。そこに、地域の大きな教育力の一つである「上堺ソフトボール」というチームで体も心も磨き、さらに大きな活躍の場に出ていたのだと思います。本当にこの上堺の地域教育力の高さを再認識しています。

今後、プロとして野球をする姿を早く見たいと、ファンの一人としても待ち遠しく思います。いずれ母校の子ども達に、その雄姿を見せ、話をしに来てくれることを強く願っています。

※ 喜びと応援の気持ちを込めた横断幕作成においては、PTAや地域の皆様のご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。



中村 公美